

2017年5月22日

SSC-梁貫通孔設置範囲 for Revit2017

リリースのご案内

株式会社ソフトウェアセンター

梁貫通孔設置可能範囲自動表示ツール

「SSC-梁貫通孔設置範囲 for Revit 2017」をリリースいたします。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

「Autodesk Revit」のバージョンアップに伴い、「Revit2017」に対応した『SSC-梁貫通孔設置範囲 for Revit2017』をリリースいたします。『SSC-梁貫通孔設置範囲』は、構造躯体情報を元に、梁貫通孔設置可能範囲、及び、設置不可範囲を自動で表示するプログラムです。

■ 機能の追加

1. RC 大梁／基礎梁設定に、『梁せいによる最小離隔距離指定』を追加

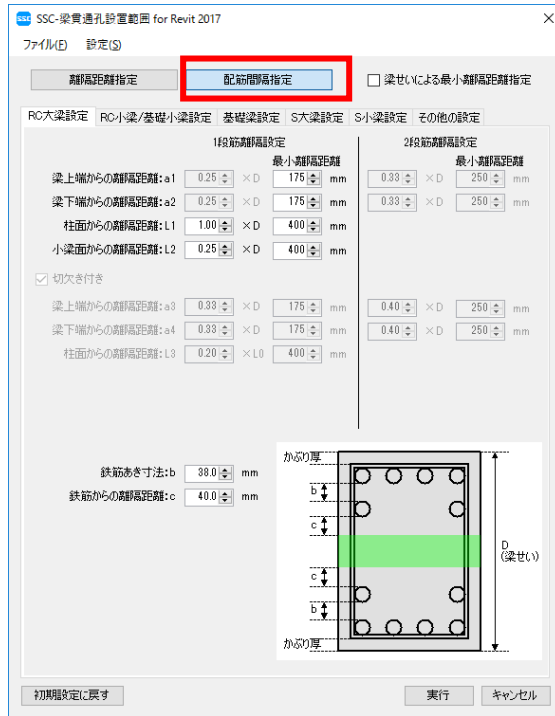
最小離隔距離		
梁せい	mm指定	比率指定
450 $\leq D <$ 700	175	0 $\times D$
700 $\leq D <$ 900	210	0 $\times D$
900 $\leq D <$ 1250	260	0 $\times D$
1250 $\leq D <$ 99999	0	0.3 $\times D$

D:梁せい 0mm指定で、梁せいの割合を入力(0~1)

保存 キャンセル

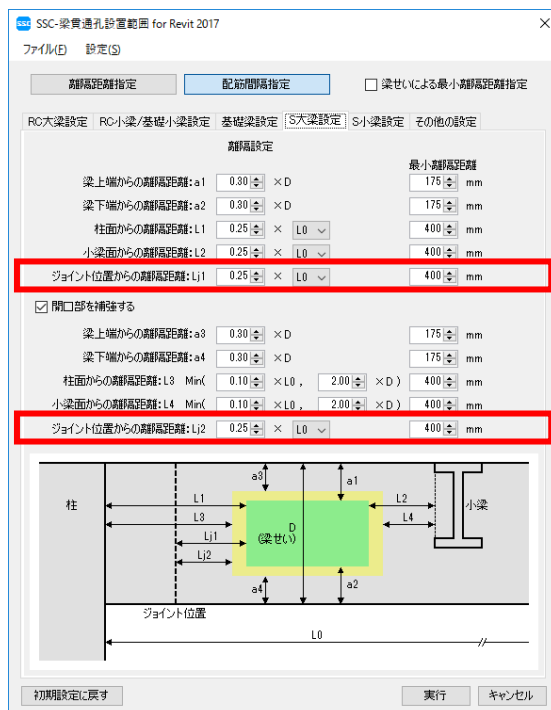
2. RC大梁／基礎梁設定に、『配筋間隔指定』を追加

『配筋間隔指定』を選択した場合、鉛直方向の貫通孔設置可能範囲を「鉄筋あき」と「鉄筋からの距離」で指定できるようになりました。



3. S大梁設定に、『ジョイント位置からの離隔距離』設定を追加

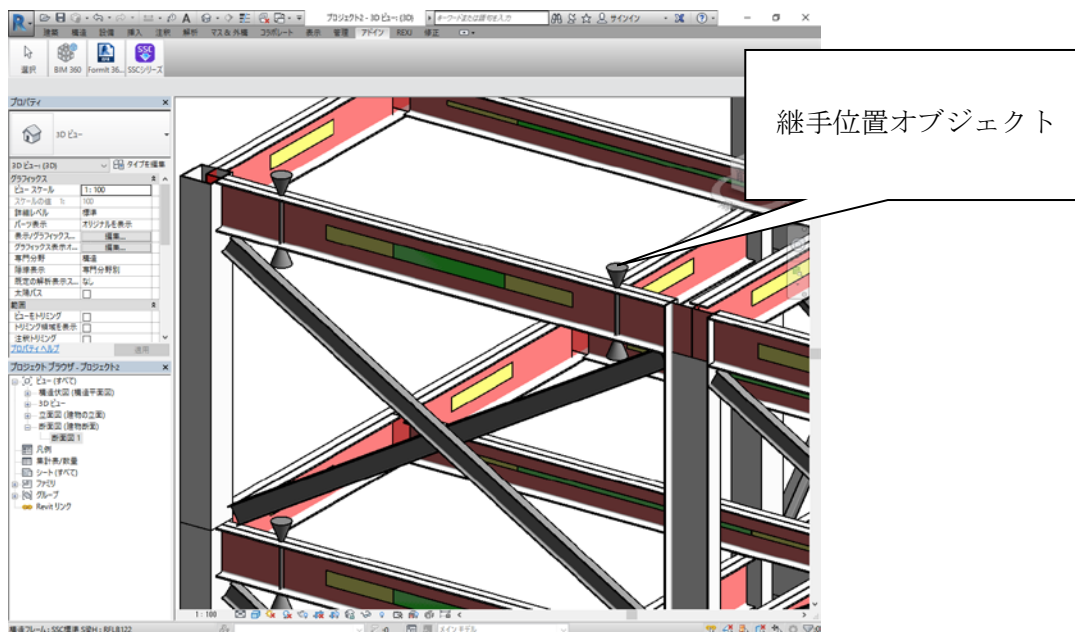
ジョイントがある場合、「ジョイント位置からの離隔距離」と「柱面からの離隔距離」の両方を満たす領域を貫通孔設置可能範囲とします。



4. 『継手位置設定コマンド』を新設

「継手位置」としたい場所に「詳細線分オブジェクト」を配置し、S 梁を選択してコマンドを実行すると S 梁上に『継手位置オブジェクト』が生成されます。

この『継手位置オブジェクト』から「ジョイント位置からの離隔距離」を満たすように貫通孔設置可能範囲を生成します。



■ リリース時期

2017年6月上旬の予定です。

ご不明な点がございましたら、当センターまでお問い合わせください。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

株式会社ソフトウェアセンター

Tel : 03-3866-2095

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-6-2 大和ビル6階

ホームページ : <http://www.scinc.co.jp/>